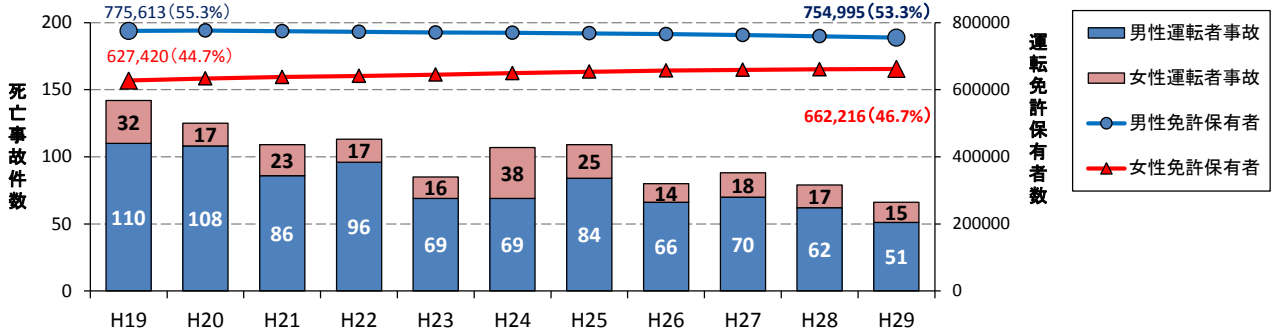


男女別運転者事故の特徴 (過去5年間の死亡事故データから)

1 過去の推移 (H19～H29)

運転免許保有者数は、10年前と比較すると男性は20,618人減少、女性は34,796人増加し、女性の保有者割合が年々高くなってきている。

原付以上の運転者(第1当事者)による死亡事故では、男女とも10年前の半数以下となっている。また、男性は女性より3.4倍の発生で、男性は全体の8割近く、女性は2割強を占めている。

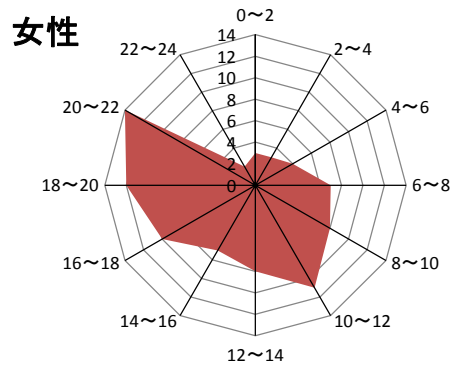
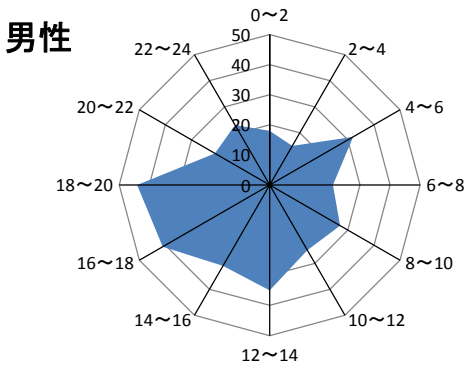


2 発生時間帯別

男性は昼夜ほぼ同数の発生であるが、女性は昼間に6割と男性より昼間の事故割合が高い。

男性は16～20時の発生が最も多いほか、22～6時の発生の割合が女性より高い。

女性は18～22時の発生が最も多く、20～22時の発生の割合が男性より特に高い。また、10～12時の発生の割合が高い。

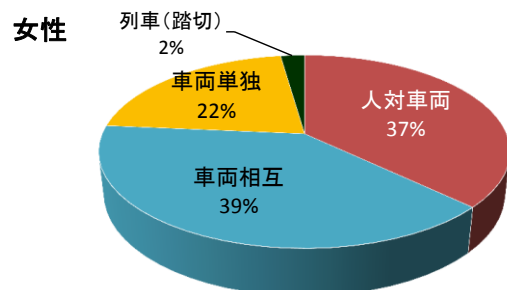
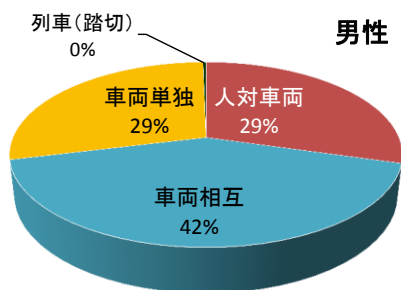


	0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～24	昼間	夜間	総計
男性	18	15	32	21	27	25	35	31	41	44	21	23	169	164	333
構成率	5.4%	4.5%	9.6%	6.3%	8.1%	7.5%	10.5%	9.3%	12.3%	13.2%	6.3%	6.9%	50.8%	49.2%	100.0%
女性	3	3	4	7	8	11	8	7	10	12	14	2	52	37	89
構成率	3.4%	3.4%	4.5%	7.9%	9.0%	12.4%	9.0%	7.9%	11.2%	13.5%	15.7%	2.2%	58.4%	41.6%	100.0%
総計	21	18	36	28	35	36	43	38	51	56	35	25	221	201	422
構成率	5.0%	4.3%	8.5%	6.6%	8.3%	8.5%	10.2%	9.0%	12.1%	13.3%	8.3%	5.9%	52.4%	47.6%	100.0%

3 事故類型別

男性は単独事故が女性よりも発生の割合が高い。

女性は人対車両の発生割合が男性より高く、特に、横断歩道横断中歩行者との事故の発生が目立つ。



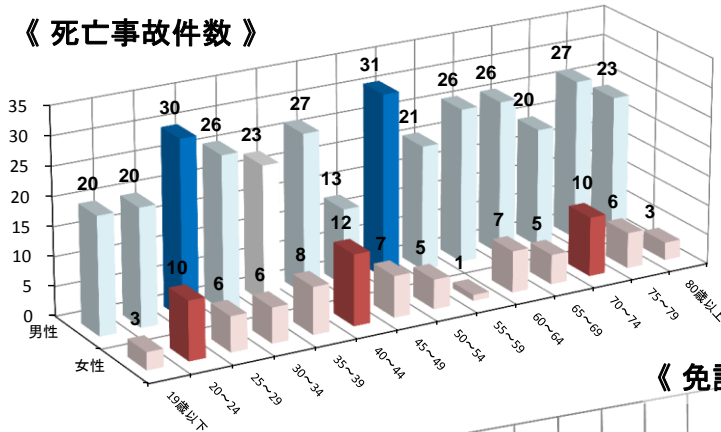
	人 対 車 両					車 両 相 互						単独事故	列車(踏切)	合計
	横 断 中		計	その他	計	正面衝突	追突	出会い頭	右左折時	その他	計			
	横断歩道	その他												
男性	10	56	66	32	98	40	12	41	27	19	139	95	1	333
構成率	3.0%	16.8%	19.8%	9.6%	29.4%	12.0%	3.6%	12.3%	8.1%	5.7%	41.7%	28.5%	0.3%	100.0%
女性	10	18	28	5	33	12	1	13	7	2	35	19	2	89
構成率	11.2%	20.2%	31.5%	5.6%	37.1%	13.5%	1.1%	14.6%	7.9%	2.2%	39.3%	21.3%	2.2%	100.0%
総計	20	74	94	37	131	52	13	54	34	21	174	114	3	422
構成率	4.7%	17.5%	22.3%	8.8%	31.0%	12.3%	3.1%	12.8%	8.1%	5.0%	41.2%	27.0%	0.7%	100.0%

4 年齢層別

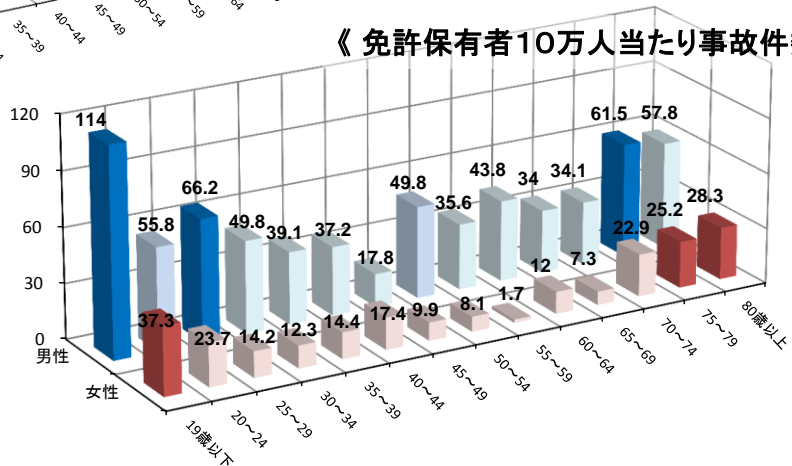
男性は50～54歳、25～29歳の順に発生が多いが、免許保有者10万人当たりの事故件数を見ると19歳以下が最も事故率が高く、次いで25～29歳、70～79歳の順に高い。

女性は40～44歳の発生が多く、次いで20～24・70～74歳の順に多いが、免許保有者10万人当たりの事故件数を見ると、男性と同様に19歳以下の事故率が最も高く、次いで80歳以上、75～79歳の順に高い。

《 死亡事故件数 》



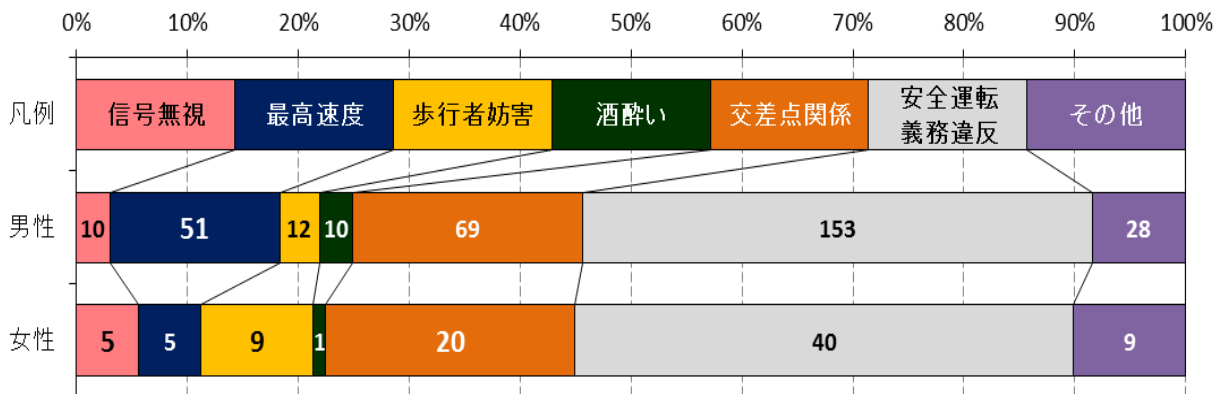
《 免許保有者10万人当たり事故件数 》



5 事故原因別

男性は最高速度違反、酒酔い違反が女性よりも高率である。

女性は、歩行者妨害、信号無視が男性よりも高率で、交差点関係(優先通行妨害・一時停止違反・交差点安全進行・徐行違反)での事故が男性より若干高い。



6 通行目的別

男性は業務中の事故が79件で、男性全体の23.7%を占めている。一方、女性については通勤時の事故が28人で、女性全体の31.5%を占めており、男性と比べると7.8ポイント高い。

